

～～第8453回～～

小金沢山

～H30. 6. 3～

安倍川駅をマイクロバスで19名、5:00に出発する。大菩薩嶺の登山口はもうハイカーで混雑している。我々は小屋平まで行くので先まで進む。小屋平で下車し、準備体操をして8:10に歩き出す。始めから急な登りで、少し行くと林道に出た。林道からは雪の富士山が見え、眼下には上日川ダム湖が見える。ここから急な登りを行くと広い笹原に出た。少し行くと大菩薩嶺との分岐の石丸峠である。レンゲツツジが咲く狼平で休憩する。笹原を抜けると雰囲気が変わり、樹林帯の中を岩と木の根に足を取られないように慎重に登る。息を切りながら小金沢山山頂に着く。富士山、南アルプスを眺めながら昼食にする。熊笹の中を下り、登り返すと牛奥ノ雁ヶ腹摺山である。山名が一番長いので知られている。ここからカヤトの斜面を下り、鞍部から100m下ると水場がある。草原に登ると川湖桃沢の頭で、なだらかな尾根道から樹林帯に入ると倒木もあって歩きにくい。大峠との分岐を過ぎ、登りきると一等三角点の黒岳である。展望もなく少し休んでから出発する。次のピークの展望の良い白谷丸で最後の休憩をとる。ここから40分の下りで湯の沢峠に着く。入念にクールダウンを行い、マイクロバスに乗り込み帰路につく。石丸峠からの笹原の稜線歩き、目にやさしい新緑、そして天気も最高で気持ちの良い一日でした。

参加者：静岡西支部 19名

天候：晴れ

地図：大菩薩峠

コースタイム：安倍川駅 500＝小屋平 810…石丸峠 918…狼平 948…小金沢山 1040-1110
…牛奥ノ雁ヶ腹摺山 1148…川湖桃沢の頭 1232…黒岳 1310…白谷丸 1338…湯の沢峠 1420
＝安倍川駅 1820

記録：静岡西支部 Y・O